

## カチタス(東 1:8919)

**バリュエーション判断**  
前回 中立 ⇒ **中立**  
(2020.5.27)  
**目標株価**  
2,560 円 → **3,190 円**

決算説明会:2020 年 11 月 10 日

担当: 石飛 益徳

【連結】		(百万円、%、円:権利落ち修正後;Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研究所予想)									
決算期		売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2020/3	2Q	47,419	19	5,588	24	5,479	24	3,690	23	48.4	13.50
2021/3	2Q	49,261	4	5,705	2	5,583	2	3,711	1	48.4	13.50
2019/3		81,356	18	9,104	23	8,740	29	5,926	30	78.8	26.00
2020/3		89,978	11	10,121	11	9,895	13	5,190	-12	68.0	27.00
2021/3	会	90,206	0	10,128	0	9,896	0	6,691	29	87.2	27.00
2021/3	予	95,000	6	10,700	6	10,470	6	7,050	36	91.9	27.00
2022/3	予	106,000	12	12,400	16	12,150	16	8,170	16	106.4	30.00

注. 2020年4月1日付で1株→2株に株式分割。

【売上構成】	21/3期第2Q	【PER】	【財務指標】	20/9末
中古住宅再生事業	100%	20/3	330円	株価(11/17終値)
		21/3予	25,455百万円	株買単位
		22/3予	54,455百万円	発行株数
			239,978百万円	PBR
				9.5倍

注. 発行株数は自己株式を除く、EPS、BPSは自己株式を除いて算出。

### <注目ポイント>

- ①「未来への扉を。『家に価値タス』ことを通じて、地域とお客様に。」を経営理念に、「新築」でも「現況の中古」でも「賃貸」でもない、「リフォーム済みの中古再生住宅」という住まい選びの「第4の選択肢」を顧客に提供・提唱。中古住宅を自ら調査して仕入れ、リフォームによる「安心・清潔・実用的」な中古住宅を販売する一貫通貫の事業モデルを確立。
- ②2022年3月期に売上高1100億円程度、営業利益130億円程度を目標とする中期経営計画を推進中。年平均成長率10%程度の安定的な成長の実現を目指す。
- ③2021年3月期第2四半期は、コロナ禍の逆風を受けたが、前年同期比4%増収の492億61百万円、同2%営業増益の57億5百万円、同2%経常増益の55億83百万円、当期利益同1%増の37億11百万円と増収増益を確保した。
- ④会社側は、前期並みを想定する通期計画の売上高902億6百万円、営業利益101億28百万円、経常利益98億96百万円、当期利益66億91百万円を据え置いた。
- ⑤エース経済研究所でも、従来予想の売上高950億円、営業利益107億円、当期利益70億500百万円を据え置く。第2四半期の進捗や同社の不況耐性や営業力から上振れを期待。

### 目標株価3190円、バリュエーション判断は中立

比較対象企業には、同社と同様の中古住宅再生事業を展開するフジ住宅(東 1:8860)、東武住販(JQ:3297)、イーランド(東 1:3294)が挙げられる。3社の年初来の今期予想PERは概ね7倍~9倍だが、事業規模で圧倒的なカチタスは同28倍弱で推移している。目標株価は来期予想EPS×PER30倍の3190円に見直す。現在の株価は、この±10%の水準にあるため、バリュエーション判断は中立を継続する。押し目買いスタンス。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

### 《アナリストによる宣言》

私、石飛益徳は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

### 《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

### 金融商品取引法に基づく表示事項

#### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

#### ■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

### エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
  - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
  - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。